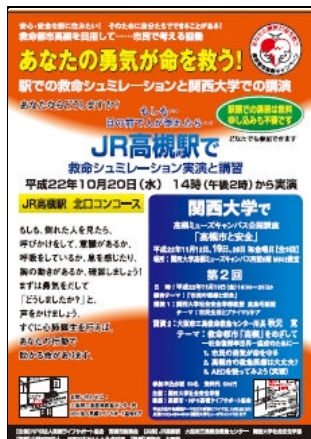


活動助成（2009年度募集）活動実績報告書

団体名	特定非営利活動法人高槻ライフサポート協会
活動テーマ	心肺脳蘇生法普及活動 AED（自動体外式除細動装置）使用法普及・設置推進活動



【活動趣旨】

現代は、急性冠症候群（心疾患）や脳血管障害などの生活習慣病や、交通事故、自然災害などによって多くの大切な命が失われており、救急医療、災害医療はますますその重要性が認められています。高槻ライフサポート協会は、国民の健康で安全な社会生活に貢献することを目的として、適切な医療提供のための医療技術・知識の普及、教育を通じて、救急傷病対応（ライフ・サポート）を必要とする傷病者の救命率及び救命後の社会復帰、さらには生活の質（quality of life）を向上させることを最終目標とし、命の大切さ、尊さが軽んじられることがない世の中を作ることに寄与します。

【活動内容】

1992年より有志ボランティアで、人工呼吸法、心臓マッサージなどの心肺脳蘇生法の普及・教育活動を小・中学校、看護学校など市民を対象に続けている、医師、看護師、消防、一般市民参加の団体です。厚生労働省科学研究班等と共同で救命都市キャンペーンを展開した実績をもとにAED設置を推進し、特に心肺停止者の多く発生する駅（JR西日本株式会社、阪急鉄道会社、北大阪急行）を始め、デパート、自動車教習所、商店街等設置推進の実績を上げています。また、施設及び住民へのAED購入・設置方法等へのアドバイスも行なっています。2010年度は、大阪府、高槻市の後援で、高槻市医師会、JR高槻駅、関西大学とともに、JR高槻駅での救命シミュレーションと心肺蘇生法の体験キャンペーンを行ないました。また、大学の救命士研修コースのコーディネーターや上海市における医療者・一般市民等への心肺蘇生法の講習の他、AEDのメンテナンスや駅等で使用したAEDのパッドの交換やバッテリー等の消耗品の交換サポート等を行ないました。